

# 榎野川河口域・干潟自然再生協議会 ニュースレター

号外

発行日：平成29年5月  
事務局：榎野川河口域・干潟自然再生協議会

榎野川河口干潟等の『里海の再生』を目指し、協議会の関係団体等が実施した活動、話し合った内容等をご紹介します。

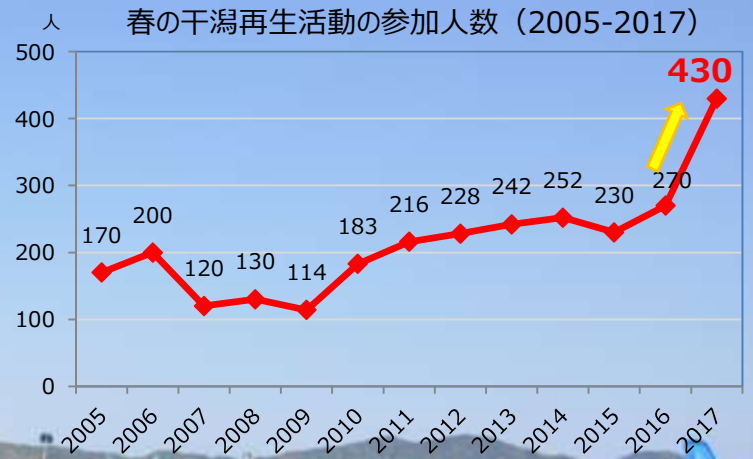
～ 榎野川 森・里・川・海 自然再生プロジェクト ～

## 榎野川河口干潟再生活動 -AQUA SOCIAL FES!! 2017-

2017年4月29日、爽やかな青空の下、毎年恒例の干潟再生活動が開催されました！！  
今年もトヨタ自動車の協賛で『AQUA SOCIAL FES!!』として開催（6年目）。  
参加者は、過去最高の**430人**！ 昨年より160人増え、多くの方にご協力いただきました。



- 主催：榎野川流域連携促進協議会  
山口県漁業協同組合吉佐支店山口支所
- 共催：トヨタ自動車、後援：山口新聞社
- 協力：榎野川河口域・干潟自然再生協議会
- 経緯：  
2005年～ 山口県が実証試験を実施  
2008年～ 協議会委員である主催団体が継承  
2009年 約20年ぶりのアサリ漁獲（約500 kg）  
2012年～ AQUA SOCIAL FES!!として開催



430人  
参加人数

干潟の情報等は  
Facebookで！

### 干潟耕うん作業

生き物が住みよい干潟環境にするため、**30m×20mの範囲をスコップ等で耕し、「うね」をつくりました。**今年で13年目で、企業や大学からもたくさんの参加をいただけるようになり、**地域の活動**として広がっています！



- \* なぜ干潟を耕すの？
- ・地盤をやわらかくする。
  - ・干潮時も海水が残り、適度な温度に。
  - ・アサリ幼生が干潟に付きやすくなる。
  - ・下層に酸素を与える。



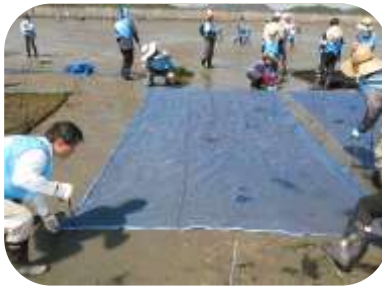
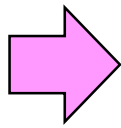
600㎡  
耕耘面積

協力大学 … 山口大学、水産大学校、山口県立大学

協力企業 … 山口トヨタ、ネットトヨタ山口、トヨタカーラ山口、山口トヨペット、伊藤園山口支店、積水ハウス山口工場

## 被覆網メンテナンス

干潟からアサリがなくなった原因の1つは、ナルトビエイやツメタガイ等による“捕食”です。この対策として、被覆網でアサリを守る活動を始め、アサリが収穫できるようになりました！この日は、藻が付着したり、やぶれたりした網を新しいものに交換し、設置枚数を増やしました。



きれいにしてから  
再利用

50枚  
交換した網

## アサリレスキュー

同じ干潟の中でも、砂が溜まりやすい場所、泥が多い場所など様々です。砂に埋もれたアサリを救出し、耕うんした後の住みやすい場所に移しました。たくさんのアサリも見れ、活動の成果を実感！



3 cm以上の  
アサリは間引き



## 潮干狩り体験・生き物観察会

子どもは潮干狩りを体験！初めて経験する子も多かったのではないのでしょうか？

生き物観察会では、絶滅危惧種のカフトガイなど、たくさんの生き物を発見！後藤講師（山口大学）や水産大学の学生さんに解説いただきました。干潟の再生のためには、人が適度に手を入れることが大切です。多様な生き物が住む豊かな里海に向けて、これからも取組を進めていきます！



18kg  
獲れたアサリ

## 榎野川の幸を味わう試食会

榎野川流域の山・川・海の恵み「山菜と柑味鮎の天ぷら」、「アサリ汁」がふるまわれました！アサリは、活動場所の榎野川干潟で採れたもので、ご協力いただいている皆様への感謝の気持ちです。



45kg  
ふるまった  
アサリ

提供：榎野川流域連携促進協議会、榎野川漁業協同組合、山口県漁業協同組合吉佐支店山口支所

【問い合わせ先】 榎野川河口域・干潟自然再生協議会（事務局：山口県環境生活部自然保護課）

TEL：083-933-3060 FAX：083-933-3069 Mail：a15600@pref.yamaguchi.lg.jp

～ つなげよう、支えよう森里川海プロジェクト『地域循環共生圏構築事業』（環境省）活動団体～